

「地上デジタル放送(ワンセグ)の海上受信実験」

富山商船高等専門学校

助教授 河合雅司

<講演概要>

富山では、2006年 4月 1日から移動体用サービスである地上デジタルワンセグ放送がスタートした。ワンセグ放送は、地上デジタル放送1チャンネル分の周波数帯域(6MHz)を、13のセグメントに分割し、その中央の1セグメント(ワンセグ)を用いて行われる移動体向けサービスで雑音やマルチパスの影響を受けにくいという特徴を持っており、映像のみならずデータ放送も可能である。北日本放送(KNB)では2005年 3月からGPS位置補正情報の伝送実験を開始、12月にはワンセグで送信されるPCR(Program Clock Reference:受信機で映像や音声等を再生するタイミングの基準となる信号)パケットの空き領域を利用することにより、テレビ放送の品質を低下させずにデータ伝送を行う世界初の実験に成功した。

このワンセグで放送されるGPS位置補正データの受信実験が富山湾及びその周辺海域で実施された。この実験結果は既に、11日の第115回講演会で発表されたが、ここでは11日の講演会では発表されなかった内容を中心に2005年及び2006年 8月に実施されたワンセグによるGPS位置補正情報の海上受信実験の結果について報告した。

☆発表資料
